

## 2021 獨協医科大学 (医) 一般選抜 (1/29)

1

A

問 1 (1) ③ (2) ④ (3) ④ (4) ① (5) ④ (6) ②

問 2 (7) ① (8) ④

## 【解説】

(7) ④の選択肢を選んだ生徒もいるだろうが、today (こんにち) という表現によって消せる。まだ Finding Anne Bradstreet の project は本文の段階では完結しておらず、イギリスとアメリカでの多大な評価を生じさせる段階には至っていない。

(8) ④の選択肢は「それ (=the project of Finding Anne Bradstreet) は、Bradstreet への大いなる評価を示すための誠実な努力を行っている」。抽象的な選択肢で選びにくい、他の選択肢は全て消去法で消せる。

B

問 1 (9) ① (10) ② (11) ③ (12) ④ (13) ④ (14) ① (15) ②

問 2 (16) ② (17) ① (18) ③

問 3 (19) ① (20) ④

## 【解説】

(13) ①の選択肢は「それら (胡麻を含んだ一部の食品) は、そのパッケージ上にラベルをつけていない」となり、それが直後の「その代わりに、スパイスや天然香料を使用していることを示すラベルをつけている」とそぐわない。

(18) 最終パラグラフとその一つ前のパラグラフの内容を考慮すると「胡麻を含んでいる食べ物を避けているのにそれでもアレルギー反応が出てしまう」という Amanda Bradley さんの苦しみが読み取れる。それこそが今回の研究の示す「胡麻がどれほどアレルゲンとして強力か」→「そして今後、胡麻をアレルゲンとして一層しっかりと認識し、アメリカでもラベリングをするべき」の主張に至ったは意見だと読み取れるが、この問題は高度な読解力が求められるかなりの難問と言える。

(19) ①の選択肢は The U.S Food and Drug Administration already requires から始まる ¶8 の Canada, Australia ~の一文を根拠にとると解答できる。④の選択肢は、「胡麻由来の成分を含む食べ物のラベルは、アレルギー物質を含む旨を伝える内容であることが必要とされている」とあるが、本文の段階ではアメリカではまだそこに

至っておらず、またこの文章がアメリカの内情を中心に語っているという点で特別な条件設定がない限り「アメリカにおいて」という枕詞をつけて考えるべきなので不適と言える。こういった前提が求められているという点から、(19)は難問だと言える (合否を分けるのはもっと別の問題である)。

(20) ③の選択肢は delay「～を遅らせる」ではなく、counter「～を無効にする、止める」とった動詞ならば正答になる。

2

A (21) ① (22) ③ (23) ②

B (24) ④

C (25) ⑤ (26) ⑧ (27) ② (28) ③ (29) ① (30) ⑦

【解説】

(24) 選択肢ア.の these が「Thomas Edison の発明品」を指すのは the lightbulb という単語が書いてある点より明らかなので選択肢オ.が先行するのはわかる (教養の問題であるが、動詞の時制的には過去形という共通点を持っているのオ→アは予想しやすい)。残りの選択肢は全て現在形、あるいは現在完了形なので「Kia Silverbrook の発明品」を話題にしているとまとめられる。ここまで来れば、選択肢イ.の however や、一般的に「過去→未来」に向けて議論が展開していくという点からも正解は選びやすい。

3

- [1](31) ③ (32) ① (843597162)  
 [2](33) ⑨ (34) ③ (529147368)  
 [3](35) ② (36) ⑥ (492713685)  
 [4](37) ⑨ (38) ⑧ (439526817)  
 [5](39) ⑦ (40) ⑤ (827361594)

並び替えた英文は以下の通り。

- [1] Only recently have I realized how difficult it is for Tony to admit his faults.  
 [2] The lecturer presented the topic with abundant data for the many participants to see how Japanese society is taking advantage of foreign workers.  
 [3] Just because some magazines sell well doesn't necessarily mean that they are good ones.  
 [4] Whether our task will be light or heavy depends on how many people will help us.  
 [5] Don't inform any stranger of your credit card number no matter how trustworthy he or she may seem.

## 【解説】

[1] \* 文の義務倒置

文頭に「否定語」「only から始める副詞句」「so[such] ~ that 構文の so[such]」が来る場合、その一文は語順が義務倒置し、疑問文の語順となる。倒置を起こすのは副詞節ではなく主節。

▶ Only when she saw her parent frantically running toward her, did she begin to cry.

(両親が半狂乱になって彼女に向かって走ってくるのを見て初めて彼女は泣きだした)

▶ So earnestly did the boys beg that their father gave them permission.

(とても熱心に子供たちがすすがるもんだから、父は許可を与えた)

▶ Such was the force of explosion that all the windows were broken into pieces.

(爆発の勢いがそれほどのものだったので、窓は全て破れた)

[3] \* because の応用知識として、just because による名詞節 (帝京大学医学部の並び替えて近年出された) も覚える。

▶ s[Just because a couple isn't talking to each other] vdoesn't mean they aren't

happy

(カップルが会話をしていないからといって幸せではないということはない)

※ just because 節が S の場合は、V はほとんどの場合 doesn't mean.

4

- (41) ② (42) ③ (43) ③ (44) ① (45) ②  
 (46) ④ (47) ① (48) ③ (49) ③ (50) ①

## 【解説】

(42) recommend / suggest の語法は、

- (a) recommend[suggest] A to B 「A を B に勧める」  
 (b) recommend[suggest] that SV 「SV するように勧める」

となる。②の選択肢は \*suggest O to V という存在しない語法を下敷きをしているため間違っている。

(46) say や think といった直後に that SV を伴う「発言系 / 思考系」の動詞は、受動態の作り方が特殊である。

✓第3文形で目的語に that 節…2つの受動態が可能

能動▶People believe that green tea is high in minerals.

(人々は、緑茶はミネラルたっぷりだと信じている)

受動1→It is believed that green tea is high in minerals.

受動2→Green tea is believed to be high in minerals.

今回だと②の選択肢は which is said to be という形になれば、上記の受動2の表現となり正答とできる。④は refer to A as B 「A を B として見做す、述べる」という表現が下敷きとなっている。

(48) ②の選択肢は what I can't possibly handle なら正答となる。③の選択肢は more を代名詞として扱っており、「私ができる以上のこと」となっている。

(49) ①なら doesn't hesitate to、②なら doesn't mind going とする必要がある。

(50) 以下の内容を抑えよう。

✓「取り替える」と前置詞に注意

- ・ substitute A for B 「B の代わりに A を使う」→A をこれから使う。
- ・ replace A with[by] B 「A を B と取り替える」→B をこれから使う。
- ・ exchange A for B 「A を B と交換する」→B をこれから使う。

②の選択肢は beef を使用することになるので、状況と合わない。